

## 2023 年度

### ニチイキッズ下松清瀬保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024 年 1 月 4 日（水）～ 2 月 28 日（火）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024 年 3 月 1 日（金）
	実施方法	個々の自己評価より、保育施設の課題を明確化し、次年度の課題と改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ、おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、子どもひとり一人の気持ちを引き出しながら受け入れ、自ら表現することのできるような関りとなるよう、共通認識を高め全職員が個々への関りを続けた。
子どもの発達援助	乳幼児期の子どもの関わり方や精神面での発達、身体的な発達の理解を深め、年齢に合わせた保育計画を立て、その上で個々にあった配慮や環境設定を行うよう努めた。また、「幼児期になるまでの育てほしい姿」を全員で再確認し、「ねらい」を明確にした保育の実践に取り組むように努めた。
保護者に対する支援	より多くの園活動を開示し、参加できる機会を増やす事で、保護者との関りが増すことで、双方の様子が把握でき、コミュニケーションも深まった。特に、送迎時のやり取りや、面談など保護者一人一人に向けての深まりを構築していった。
保育を支える組織的基盤	社内研修、外部研修等、積極的に参加し、職員会やミーティング等を通してより多くの学びの場を増やし、職員間の横のつながりが深められるような雰囲気作りに力を入れ、園全体で同じ方向で意識を持つように努めた。

総評
職員が専門職であり、個々に自立していくことを念頭に、保育の質の向上を目指す中で共に学び合い、それを日々の保育に還元できるよう意識レベルを向上させることに努めた。また、不適切保育が世の中でクローズアップされることで、自らの保育を振り返り、話し合いを重ねていくことで、職員間の共通認識や、解決に向かおうとする姿勢がより深まってきた。開園より4年が終了しようとしている中で、少しずつ積みあげられるものも増えてきているように感じる。また、コロナ禍の対策も緩和傾向にあり、保護者と園との関りもさらに密になることで、保護者にしっかりと向き合い、時には支援を行いながら、安心安全な園作りを子ども、保護者、職員とで築きあげていきたい。